

USTマミヤ

ATTAS RX SUNRISE RED

SPEC ●モデル名 (フレックス) / 4 (R, SR, S, X), 5 (R, SR, S, SX, X), 6 (SR, S, SX, X), 7 (S, X) ●重量 / 58g (5・フレックス S) ●長さ / 1168mm ●トルク / 4.2度 (5・フレックス S) ●先調子 ●価格 / 4万 4000円



USTマミヤ

LIN-Q RED EX

SPEC ●モデル名 (フレックス) / 5 (R, S, X), 6 (S, X), 7 (S, X) ●重量 / 59g (5・フレックス S) ●長さ / 1168mm ●トルク / 3.6度 (5・フレックス S) ●中調子 ●価格 / 5万 5000円

赤系モデルの進化版!

歴代「リンク」でもっとも扱いやすい! 「サンライズレッド」は 大人気モデルを継承

「SUNRISE RED」も
「LIN-Q RED」も
10Kタイプのヘッドとの
マッチングがいい!



「振り心地のよいシャフトなので、ヘッドもやさしい高MOIの10Kモデルが合いますね」



「LIN-Q RED」は全長に高強度・高弾性の「トレカ®T1100G」、先端に「トレカ®M40X」を使用

長年「アッタスシリーズ」を発売してきたUSTマミヤからは、2本の「赤いシャフト」が発売されました。「赤いシャフト」先調子」というイメージが強いですが、この2本はそのイメージには収まりません。まず「LIN-Q RED EX」は、歴代のリンクの「BLUE EX」「WHITE EX」と比較して圧倒的にやさしい。中間から先がしなるのでハイフウエイダウンからインパクトにかけて加速感があります。

それでいてキックポイントは先調子ではなく「中調子」。そして、アッタス新シリーズ第1弾として登場した「アッタスRX サンライズRED」も先調子表記ですが、打った感覚は中調子に近い。それでいて先調子のようなつかまりのよさがあります。歴代「アッタス」だと名器といわれたアッタスの13代目「キング」の進化版で、手元と先端を少しだけ硬くしたことでより強い弾道が打てる進化を遂げています。